

第5次 長野県子ども読書活動推進計画 【概要】

≪ 計画期間：令和7年度からおおむね5年間 ≫



基本理念

「読むこと」、「知ること」の楽しさを
全ての子どもたちに

計画策定の趣旨

●長野県における子どもの読書活動の推進に関する施策の方向や取組を示すとともに、市町村や学校、読書ボランティアなど読書活動推進を担う関係者・団体等の指針として策定する

本計画における「読書」の位置づけ

- 「読書」は多様な目的や形を包含し、印刷された紙の図書だけではなく、電子書籍やインターネット上のコンテンツなど多様な情報源もその対象
 - ⇒ 言葉を学び、感性を磨くとともに、表現力や読解力、論理的な思考力を高められる可能性が広がる
 - ・創造力を豊かにし、人生をより深く生きる力を身に付け、それぞれの幸せや生きがいを実感できる「個人のウェルビーイング」の実現につながる

共通する視点

- 視点① 豊かな読書体験が得られる取組の推進
- 視点② デジタル社会に対応した読書環境の整備・充実
- 視点③ 多様な子どもたちの読書機会の確保
- 視点④ 子どもたちの視点に立った読書活動の推進

●取組の柱1

信州全体での子ども読書活動の推進

- 1-1 家庭等における読書活動の推進
- 1-2 地域における読書活動の推進
- 1-3 学校等における読書活動の推進

主な推進方策

- ・個々の家庭の課題ではなく、地域の様々な機関や団体が連携・協力して社会全体で読書活動を支援
- ・ブックスタートなど乳幼児期から親子で読書に親しむ取組の充実や読書活動の意義・重要性の啓発
- ・学校に行きづらい等様々な状況にある子どもたちが本と出会い安心して居られる場所としての図書館づくり
- ・地域における子どもの居場所として機能する場や、学校以外の多様な学びの場と連携・協力した取組
- ・県立図書館における「体験の貸出」等を通じた「知ること」の楽しさを得られる取組の充実
- ・各発達段階ごとの読書の捉え方を踏まえた読書活動の展開
- ・地域の図書館等と連携した情報の収集活用の学習活動充実
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による教育の推進への学校図書館の寄与

●取組の柱2

子ども読書活動推進のための環境整備

- 2-1 地域における読書環境の整備
- 2-2 学校における読書環境の整備
- 2-3 子どもの読書活動を支える人的体制の整備

主な推進方策

- ・メディアの充実や利用支援の取組を通じた読書バリアフリー化の推進
- ・自ら読書の機会を得にくい環境にある子どもたちへの支援体制の充実
- ・本と出合う機会を支えるため書店や出版社と公共図書館が連携した取組実施についての検討
- ・学校図書館におけるコレクション選定・廃棄に係る校内組織の設置及び基準の策定等の計画的整備
- ・学校図書館の整備・活用を通じた子どもたちの「情報活用能力」の育成
- ・学校司書の配置拡充に向けた取組及び司書教諭の役割や協力体制の確立に向けた理解促進
- ・司書教諭、学校司書の専門性が一層発揮されるよう研修機会を充実
- ・県教委と県立図書館が連携し、司書の資質能力向上のための継続的・計画的な研修・講座の実施

推進体制

- 子どもの読書活動推進に対する理解促進のほか社会的気運の醸成・情報発信、計画を踏まえた取組の展開に向けた周知・働きかけ
- 市町村の子どもの読書活動の推進に関する計画の策定・適切な見直しのための助言や情報提供
- 主体となる様々な関係者・団体等が連携・協力し取組を展開していくための枠組みとなる横断的・有機的なネットワークの構築

指標

- 1 県民一人当たり年間貸出冊数（公立図書館・電子図書館）
- 2 市町村の「子ども読書活動推進計画」策定率
- 3 読書活動の現状調査